

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 総社広域環境施設組合		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒719-1192 総社市中央一丁目1番1号	
本票作成	部署名：吉備路クリーンセンター				
主たる業種	分類コード	98	業種名：地方公務		
事業の概要	一般廃棄物処理施設 焼却施設 90 (t/日) × 2 (炉) 粗大ごみ処理施設 36 (t/5h) 資源ごみ処理施設 し尿処理施設 90 (kl/日)				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	吉備路クリーンセンター		倉敷市真備町箭田 4 8 1	
	②	アクアセンター吉備路		総社市窪木 1 1 0 1 - 1	
	③	交流館		倉敷市真備町箭田 4 8 3	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 3 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 29 年度)	(令和 2)年度排出量	目標年度 (令和 4 年度)
	27,482 t CO ₂	23,040 t CO ₂	27,283 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 2)年度排出量
	①	吉備路クリーンセンター	22,461 t CO ₂
	②	アクアセンター吉備路	554 t CO ₂
	③	交流館	25 t CO ₂
			t CO ₂
		t CO ₂	
		t CO ₂	

削減目標の達成状況	計画期間： 平成 30 年度 ～ 令和 4 年度 (5 箇年度)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	(2) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	16.2 %	0.7 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容			原単位当たり排出量		
	基準年度	(2) 年度	目標年度			
	CO ₂ /()	CO ₂ /()	CO ₂ /()			

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 2 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

令和2年度は計画基準年度と比較し、灯油等の燃料使用量はほぼ同量ですが、吉備路クリーンセンターのごみ質分析の結果、廃プラスチックの割合が計画基準年度の24.5%に対し令和2年度は20.2%、合成繊維の割合が5.8%から5.3%にそれぞれ減少し非エネルギー起源二酸化炭素の排出量が約16.4%減少しています。このため全体では計画基準年度に対して16.2%の削減となっています。しかしながら電力使用量は計画基準年度に対し約4.7%の増となっています。今後もごみ質分析結果による大幅な変動は考えられますが、引続き計画的に設備修繕を実施し効率的なエネルギー使用に努めていきたい。また、組合構成市の総社市と倉敷市と協力し更なるリサイクルを推進し焼却ごみ量を減少させ目標を達成できるようにしていきたい。

【推進体制】

省エネ法に基づくエネルギー管理標準を基にエネルギー管理を行っている。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
吉備路クリーンセンター アクアセンター吉備路	(令和2年度実施分) 管理棟及び工場棟の照明電力の節電 省電力機器の導入(高効率機器の導入) 管理棟及び工場棟の照明電力の節電 (今後実施予定分)
吉備路クリーンセンター アクアセンター吉備路	照明電球の変更(蛍光灯のLED化) 省電力機器の導入(高効率機器の導入) 管理棟及び工場棟の照明電力の節電

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

冷暖房設備の使用電力量低減のため、クールビズ・ウォームビズ運動に取り組んでいます。